

人間らしさを尊重する認知症ケア

「ユマニチュード」はフランス発祥の認知症ケア技法です。「見つめる」「話しかける」「触れる」「立つ」の4つの柱を軸に、認知症の方との絆を深めるのが特徴です。

日本では福岡市が全国に先駆けて自治体として導入し、地域全体で認知症の人を支える「認知症フレンドリーシティ」の実現に向けた取組を推進しています。先日、福岡市の老人ホームと九州大学を訪問し、その一端を学んできました。神奈川県としての取組を今後、研究していきます。

神奈川県議会議員

HPへ▶



おの でら 慎一郎
しんいちろう

